



# 令和6年度 静岡市立高部こども園グランドデザイン



園目標:「心豊かで たくましい たかべっこ」

静岡市教育振興基本計画における目指す子どもの姿  
「たくましく しなやかな 子どもたち」

## <子どもの実態>

- ・温和で優しく、穏やかな子が多い
- ・異年齢児や友達との関わりを喜び、戸外で活発に遊ぶ
- ・園内の恵まれた自然環境を生活の一部として捉え、興味を広げたり、様々な表現を楽しんだりしている

## <地域・園の実態>

- ・従来は農村地帯であったが、団地や宅地化が進み、保護者の職業も多様化している
- ・園の周辺は、山、田畑、公園などたくさんの自然が残っている
- ・地域の有識者や協力者を得て、田んぼ、畑の取り組みなど、自然に関する教育に力を注いでいる
- ・近隣園、小中学校、高齢者との交流が行われ、地域との関わりが多い

『輝け！たかべっこ』  
めざす子どもの姿

人も自分も大切にできる子  
『自分が好き』『友達が好き』

豊かに感じる心をもつ子  
『おもしろい』『何だろう』

心も体も元気な子  
『やってみよう』『明日もやりたい』

高部こども園の保育者の姿

人やものとの関わりを  
心から楽しめる保育者

互いに信頼し  
協力し合う保育者



「もちのき」  
(園のシンボルツリー)



重点目標:「夢中になって遊ぶ」

## 高部こども園のよさを活かした教育活動

### 心動かす直接体験や発達をおさえた環境構成

- ・感動体験の場づくりの工夫
- ・考えたり試したりしながら遊び込むことができる環境構成や保育の工夫
- ・豊かな心の育成と知的好奇心への対応(様々な教材の活用)
- ・手や身体を動かす遊び
- ・保育者間のチーム力
- 興味関心に合わせた環境

### 多様性がいきるインクルーシブ保育

- ・自分のことは自分でする生活
- ・保護者とつながる(定期的な面談)
- ・サポートプランの充実
- ・保育者同士がつながる
- ・子ども同士の対話、育ち合いを重視(よさと可能性を捉える)
- ユニバーサルデザインをめざす

### 「げんき田んぼ」カリキュラム～ESDとの関わりを捉えて～

- ・地域の資源を価値づけ、保護し、持続可能な取り組みとする
- ・米作り(代かき、田植え、稲刈り、脱穀など)
- ・お米ができるまでを知る
- ・収穫の喜びや感謝の気持ちを育む
- ・案山子作り、藁を使った遊び
- ・野菜作り
- 生態系や食物連鎖、生物多様性などへの感覚的な気づき

### 地域・保護者との連携

- ・園だけではできない地域と連携した取り組み
- ・畑、「げんき田んぼ」の先生、陽光園、地域子育てトークの会、遊び名人などと交流の機会をもつ
- ・小学校、近隣園との交流(1年生体験授業、近隣園交流、高部小からの配食給食)
- ・六中学区構想(時・場・礼)
- 人との関わりの中で地域への愛着を育む

## <研修テーマ>

『夢中になる姿を支えるための環境構成(コト・ひと・もの)』

## <学年目標>

- ・3歳児 …「好きな遊びを繰り返し楽しむ」
- ・4歳児 …「友達と遊ぶ中で相手の思いや考えに気づき、関わりを深める」
- ・5歳児 …「目的を持ち、友達と協力しながら遊びを進め、満足感や達成感を味わう」